

臨時レポート

メイ英首相総選挙表明

政権基盤安定はメイ首相のBrexit交渉の自由裁量権拡大要因

- 英国のメイ首相は6月8日に解散総選挙を実施する意向を表明。
- Brexit (英国のEU (欧州連合) 離脱) 交渉を前にメイ首相は政権基盤の安定を目指す。

英国のメイ首相は6月8日に解散総選挙を実施する意向を表明しました。解散には下院議会 (定数650) の3分の2の434議席以上の賛成が必要ですが、与党保守党 (330議席) に加え、最大野党労働党 (229議席) の賛成票などを合わせ、522票で19日に可決されました。

メイ首相が従来の総選挙スケジュールである2020年から前倒し総選挙を決断した背景は、「高い支持率を追い風に政権基盤を固めるチャンスが到来した」との判断があったと見られます。

現状の与党保守党議席数は、かろうじて過半数に達している程度であり盤石ではないため、総選挙の結果、さらに議席数が増えれば、Brexit交渉の最終合意に対しての議会承認の可能性が従来より高くなると思われます。この場合「期限内合意に至らないままのEU離脱」という最悪シナリオを回避する一助にはなると見られます。

ただし、総選挙の結果、メイ首相の対Brexit交渉の自由裁量権が拡大したとしても、それはEU側の英国に対する譲歩余地を広げるものではないと思われます。貿易・通商協定に関する交渉開始条件を「EU予算分担金の清算」とするEUとのスタンスの違いで、交渉開始前から波乱含みの状況を踏まえると交渉難航必至と見られます。

図表1：与野党の主張

	EU離脱反対	ハードBrexit ※1	ソフトBrexit ※2
保守党 (メイ首相)		○	
労働党 (コービン党首)			○
自由民主党 (ファロン党首)	○		
スコットランド民族党 (スタージョン党首)	○		

※1 域内無関税などを定めるEU単一市場からの完全撤退
 ※2 EUとの結びつきを維持

図表2：最新世論調査「支持政党」

	4月5日～6日	4月12日～13日
保守党	42%	44%
労働党	25%	23%
自由民主党	11%	10%
イギリス独立党	11%	10%
スコットランド民族党	8%	6%
その他	3%	7%

図表3：最新世論調査「首相に最適なのは誰？」

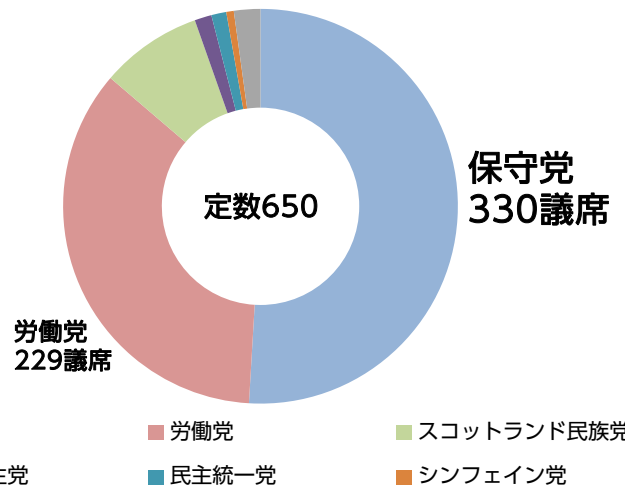
	4月5日～6日	4月12日～13日
メイ首相	49%	50%
コービン労働党党首	16%	14%
不明	35%	36%

図表4：最新世論調査

「Brexit交渉に最適な政党は？」

	2月27日～28日	4月12日～13日
保守党	30%	34%
労働党	10%	9%
自由民主党	7%	7%
イギリス独立党	10%	10%
その他	3%	3%
無し	12%	11%
不明	28%	26%

図表5：下院議会議席構成



- 保守党
- 労働党
- スコットランド民族党
- 自由民主党
- 民主統一党
- シンフェイン党
- その他

出所) 各種報道資料を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント